




平成29年度

# 小学校新教育課程説明会社会科

---

平成29年8月10日 県立教育研究所  
奈良県教育委員会事務局 学校教育課  
指導主事 谷 聡





# 本日の説明内容

- I. 社会科改訂の基本的な考え方
- II. 社会科改訂のポイント
- III. 目標の改善
- IV. 内容の改善
- V. 移行措置について



# I . 社会科改訂の基本的な考え方①

- ◇ 小・中学校においては**公民としての資質・能力の基礎**を育成する。

# I. 社会科改訂の基本的な考え方②

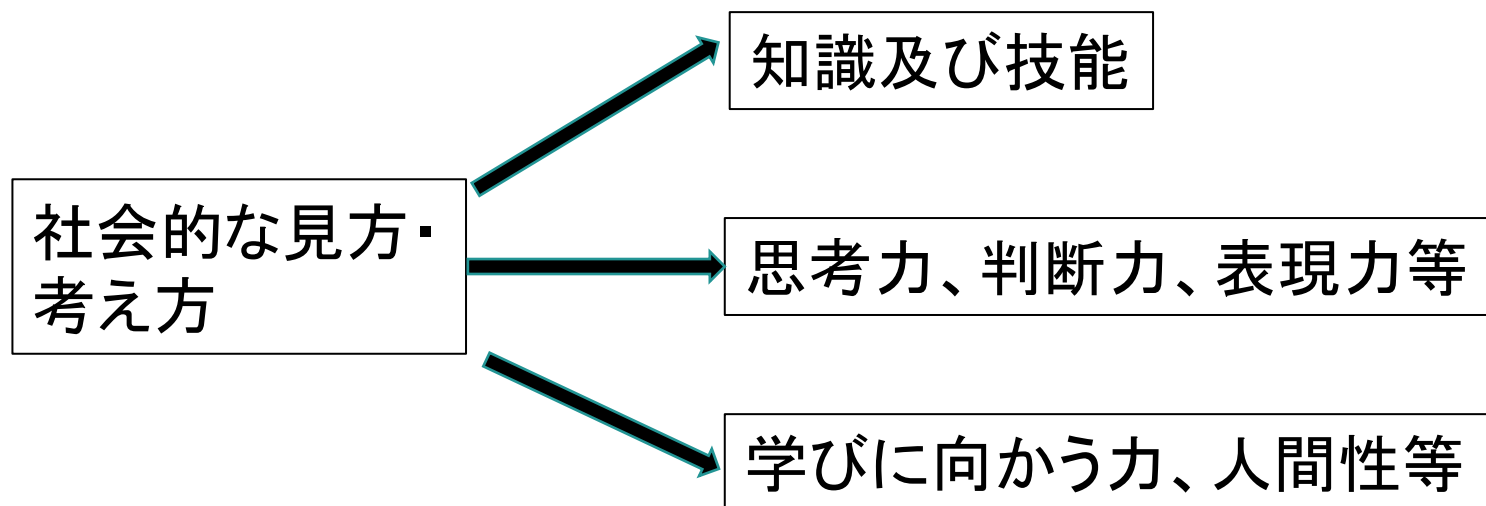
- ◇ 育成を目指す資質・能力の具体を「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱で明確化
- ◇ 「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを通して、三つの柱で整理した資質・能力を育成

# I. 社会科改訂の基本的な考え方③

- ◇ 課題を追究したり、課題を解決したりする活動を位置付けた学習過程
- ◇ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するよう授業改善を図る
- ◇ 小・中学校の社会科の内容を枠組みや対象に区分して整理
- ◇ 「社会的な見方・考え方」と概念等に関する知識との関係を整理

【解説 p 9】

## Ⅱ. 社会科改訂のポイント①





## Ⅱ. 社会科改訂のポイント②

- ◇ 第3学年及び第4学年の目標と内容については、再整理
- ◇ 第3学年から地図帳を使用

## Ⅱ. 社会科改訂のポイント③

小・中・高全体

社会的な見方・考え方



小学校

社会的事象の見方・考え方

社会的事象の特色や意味などを考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする際の「視点や方法（考え方）」

「位置や空間的な広がり，時期や時間の経過，事象や人々の相互関係に着目して社会的事象を捉え，比較・分類したり総合したり，地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること」





## Ⅱ. 社会科改訂のポイント④

3つの内容に整理

①地理的環境と人々の生活

②歴史と人々の生活

③現代社会の仕組みや働きと人々の生活

## Ⅱ. 社会科改訂のポイント⑤

- ・ 社会に見られる課題を把握して社会の発展を考える  
学習の充実
- ・ 人口減少や地域の活性化、国土や防災安全に関する  
内容の充実
- ・ 情報化による生活や産業の変化、産業における技術  
の向上などに関する内容の充実



## Ⅱ. 社会科改訂のポイント⑥

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

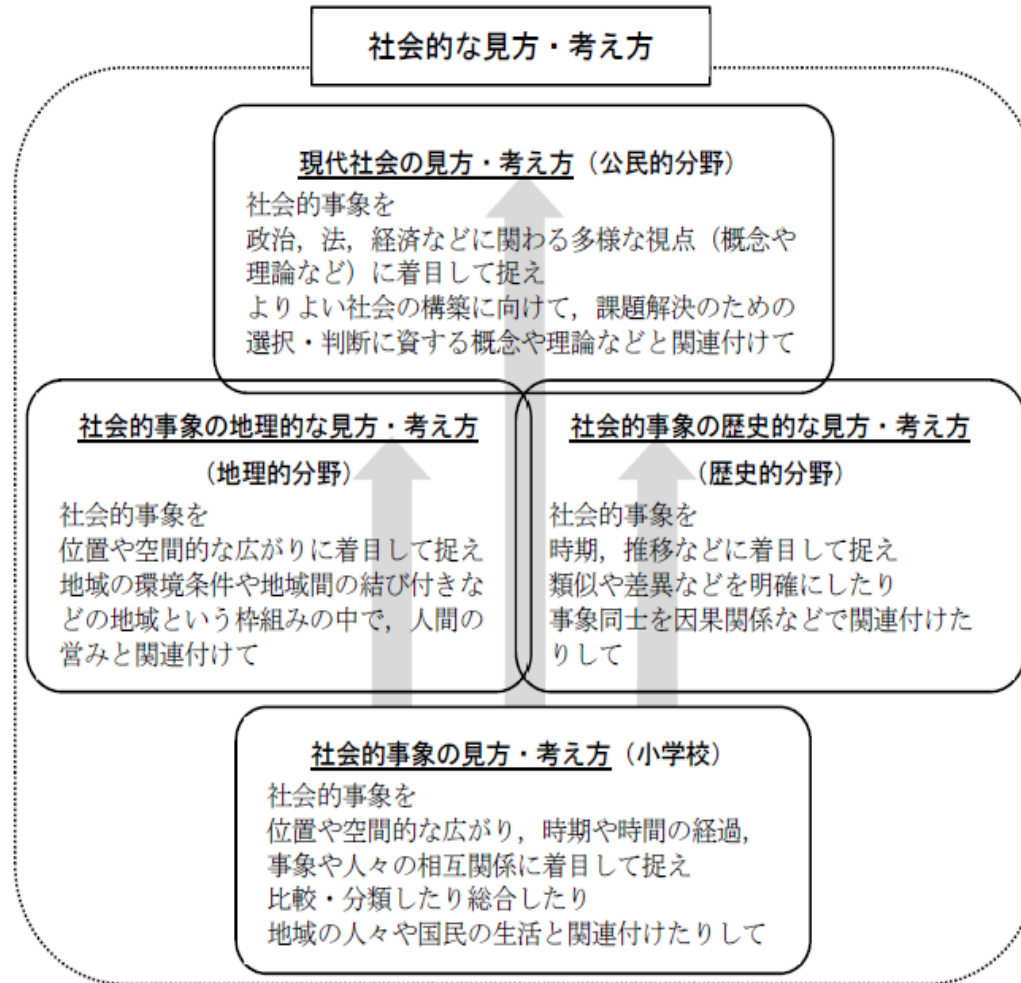
## Ⅲ. 目標の改善

### 1 目標

「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う」という柱書部分と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿った資質・能力に関わる具体的な目標で構成

# Ⅲ. 目標の改善

## 2 教科の目標に示された「社会的な見方・考え方」について



# Ⅲ. 目標の改善

## 3 各学年の目標の構成（第3学年を例に）

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

# IV 内容の改善

## 1 内容構成の改善

- 各学年の内容を、①地理的環境と人々の生活、②歴史と人々の生活、③現代社会の仕組みや働きと人々の生活に区分する観点及び第3学年と第4学年の目標と内容を分けて示す観点から、整理。
- 各学年の内容を「知識及び技能に関わる事項」と「思考力、判断力、表現力等に関わる事項」に分けて明確化。

# IV. 内容の改善

## 2 各学年の内容 (なお丸数字は、上記IV 1 の ①～③に対応)

### 第3学年

- (1) 身近な地域や市区町村の様子 . . . . . ①
- (2) 地域に見られる生産や販売の仕事 . . . . . ③
- (3) 地域の安全を守る働き . . . . . ③
- (4) 市の様子の移り変わり . . . . . ②



# IV 内容の改善

## 2 各学年の内容 (なお丸数字は、上記4(1)の①～③に対応)

### 第4学年

- (1) 都道府県の様子 . . . . . ①
- (2) 人々の健康や生活環境を支える事業 . . . ③
- (3) 自然災害から人々を守る活動 . . . . . ③
- (4) 県内の伝統や文化, 先人の働き . . . . . ②
- (5) 県内の特色ある地域の様子 . . . . . ①

# IV. 内容の改善

## 2 各学年の内容（なお丸数字は、上記4（1）の①～③に対応）

### 第5学年

- (1) 我が国の国土の様子と国民生活 . . . . . ①
- (2) 我が国の農業や水産業における食料生産 . ③
- (3) 我が国の工業生産 . . . . . ③
- (4) 我が国の産業と情報との関わり . . . . . ③
- (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり  
. . . ①及び③

# IV 内容の改善

## 2 各学年の内容（なお丸数字は、上記4（1）の①～③に対応）

### 第6学年

- (1) 我が国の政治の働き . . . . . ③
- (2) 我が国の歴史上の主な事象 . . . . . ②
- (3) グローバル化する世界と日本の役割 . ③

# IV. 内容の改善

## 3 各学年の内容記述の構成

(第3学年の内容(2)「地域に見られる生産や販売の仕事」を例に)

- ①
- (2) ④ 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- ③ (ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。
- ⑥ (イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。  
(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。  
イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- ② (ア) 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。
- ⑤ (イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

【解説 p 38】

## V. 移行措置について

国語及び社会については、全部又は一部について新小学校学習指導要領によることができることとするが、現行小学校学習指導要領による場合には、新小学校学習指導要領に定める内容の一部を追加又は適用することとしたこと。